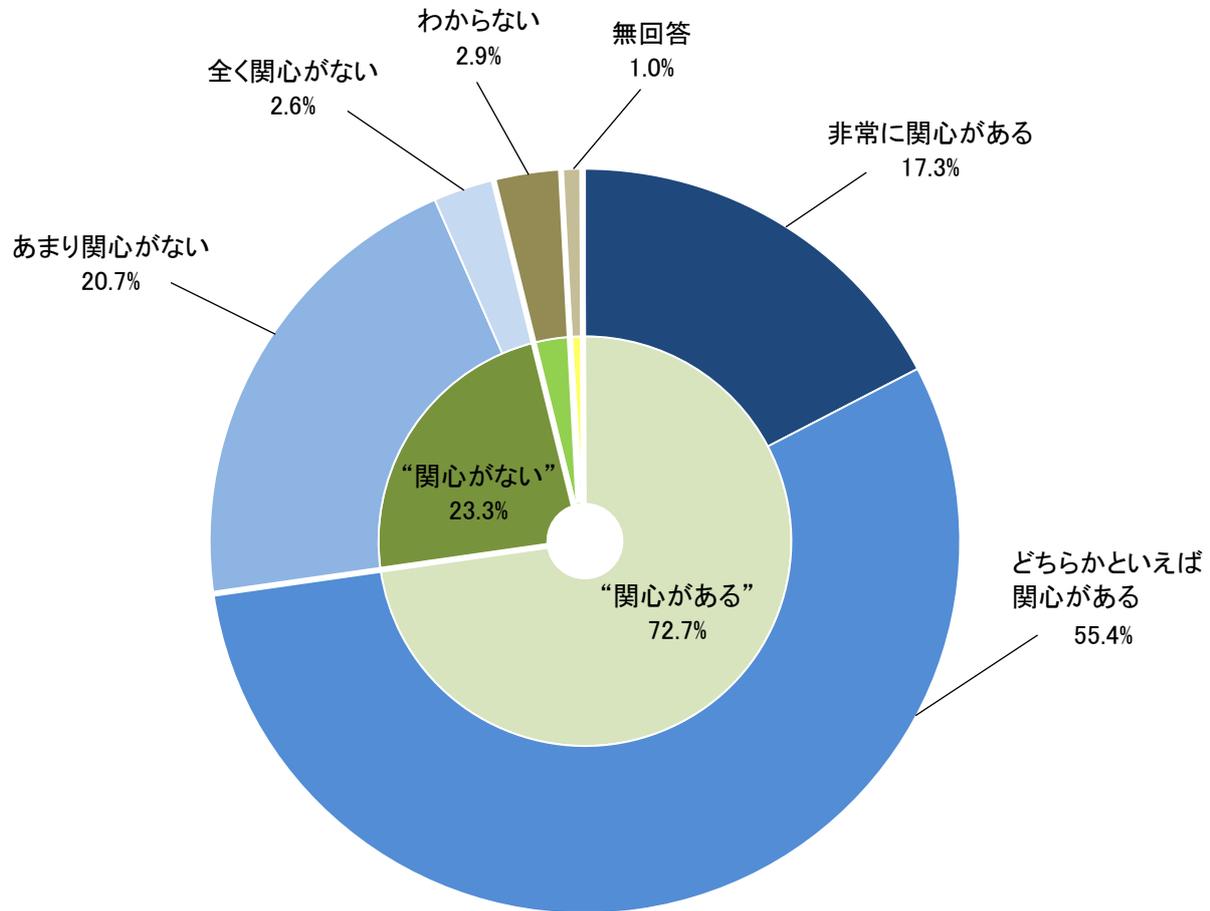


3 自然・生きものについて

(1) 自然への関心度

“関心がある”が 72.7%

問 10 あなたは、自然に対してどの程度関心がありますか。【〇は1つ】



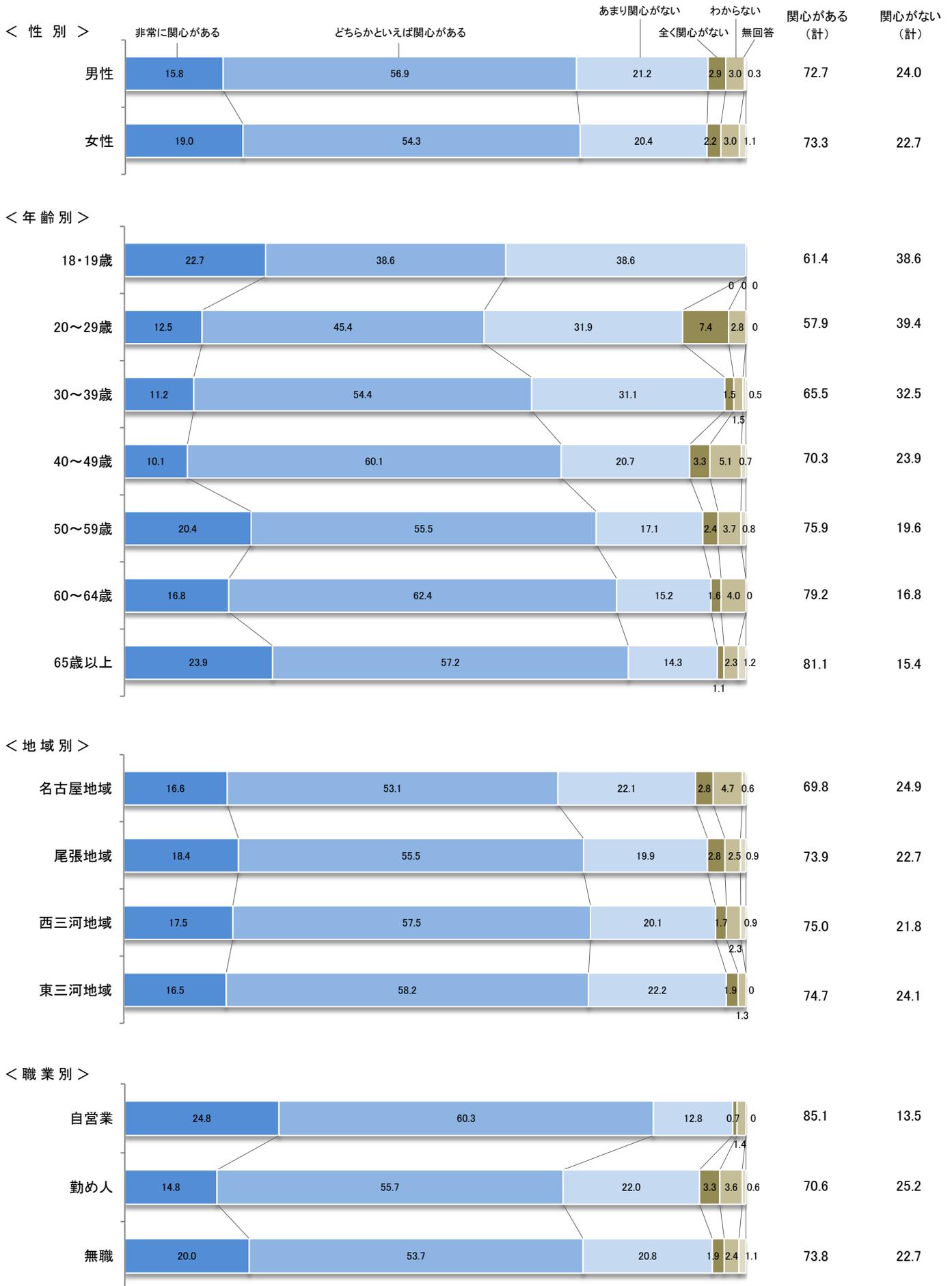
件数 = 1,695

自然への関心度について、「非常に関心がある」(17.3%)と「どちらかといえば関心がある」(55.4%)を合わせた“関心がある”と答えた人の割合は 72.7%となっている。

一方で、「あまり関心がない」(20.7%)と「全く関心がない」(2.6%)を合わせた“関心がない”と答えた人の割合は 23.3%となっている。

自然への関心度(性別、年齢別、地域別、職業別)

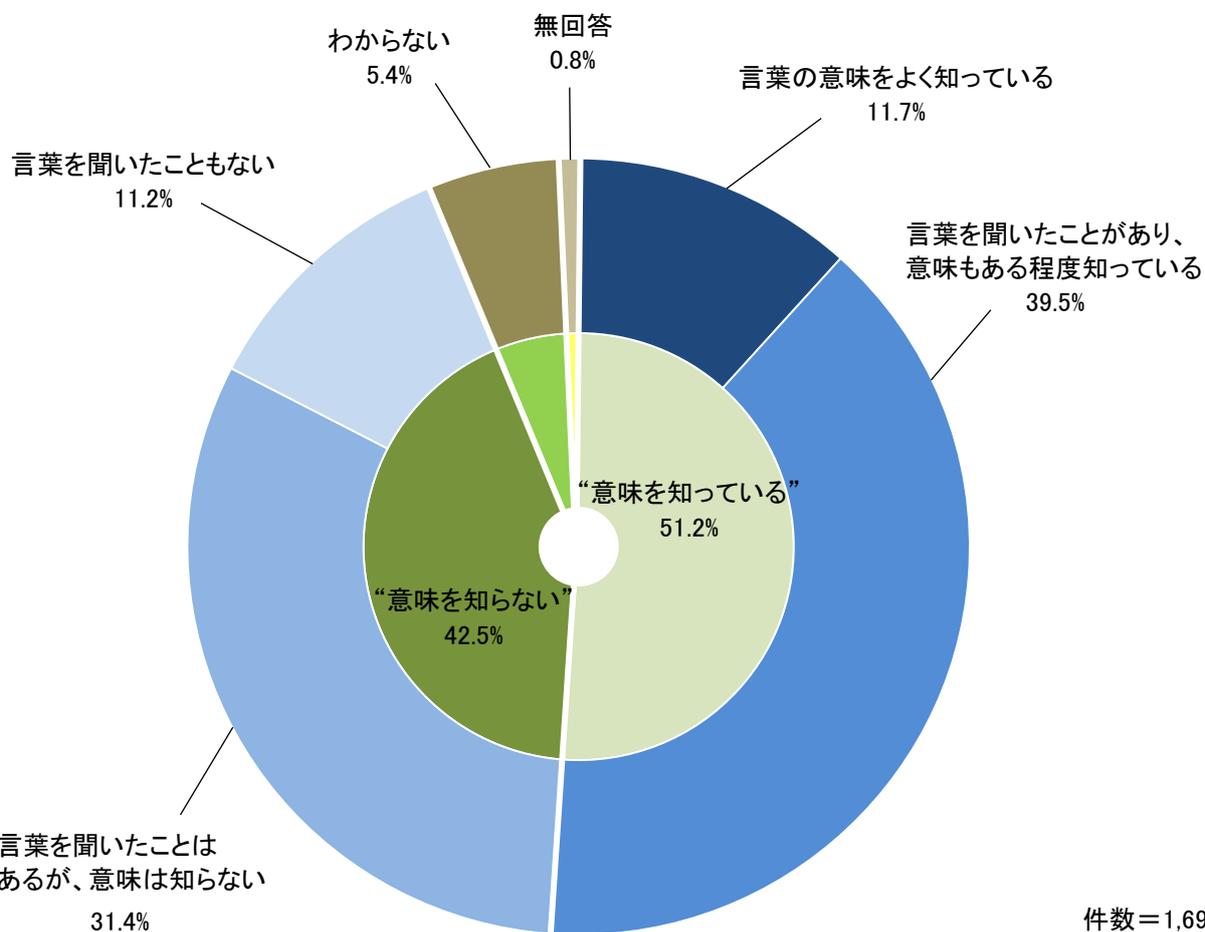
(%)



(2)「生物多様性」の認知状況

“意味を知っている”が 51.2%

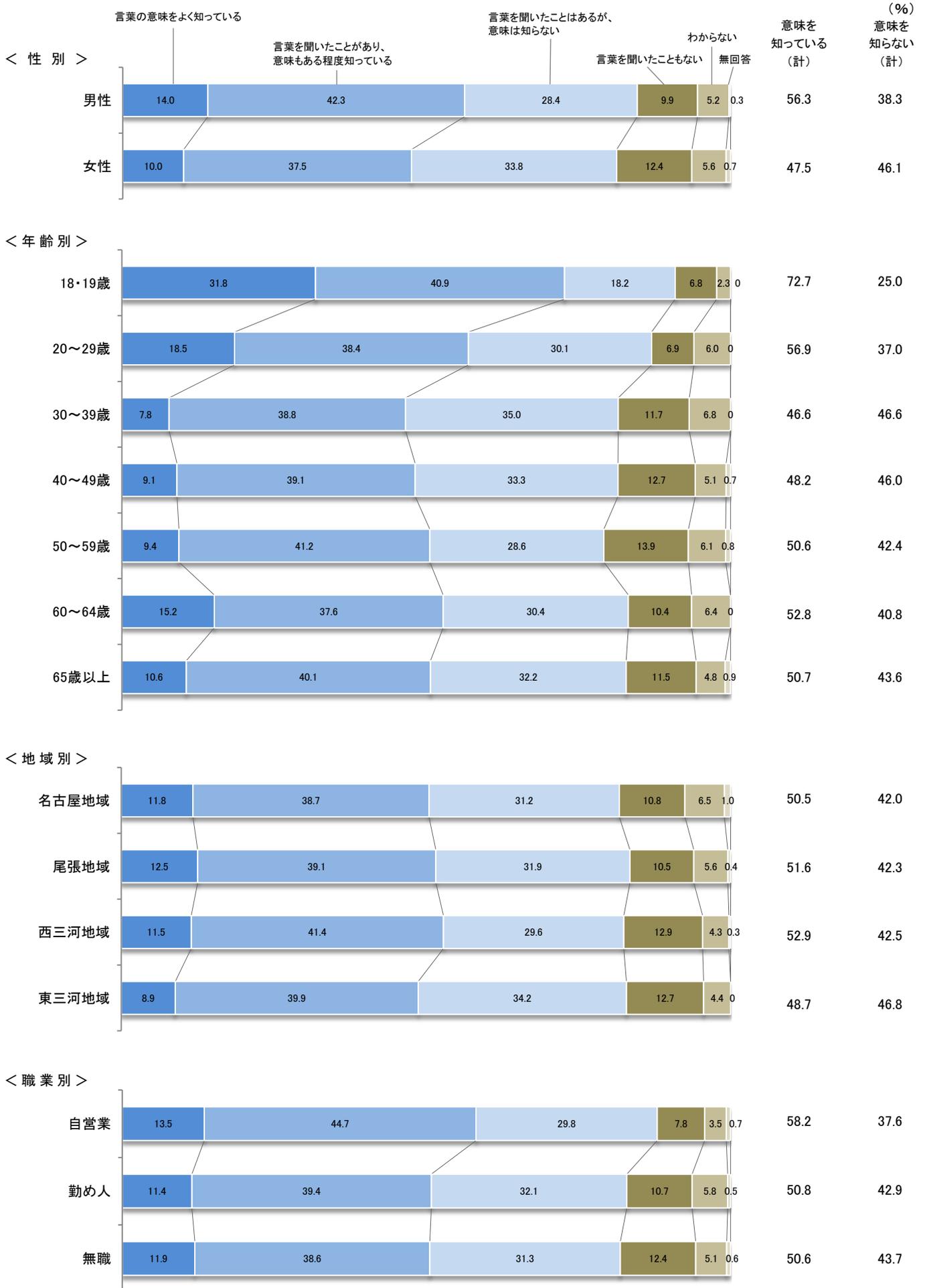
問 11 「生物多様性」とは、多種多様な生きものが互いに関わりあい、支え合って生きていることをいいます。あなたは、「生物多様性」という言葉をどの程度知っていますか。【〇は1つ】



「生物多様性」の認知状況について、「言葉の意味をよく知っている」(11.7%)と「言葉を聞いたことがあり、意味もある程度知っている」(39.5%)を合わせた“意味を知っている”と答えた人の割合は 51.2%となっている。

一方で、「言葉を聞いたことはあるが、意味は知らない」(31.4%)と「言葉を聞いたこともない」(11.2%)を合わせた“意味を知らない”と答えた人の割合は 42.5%となっている。

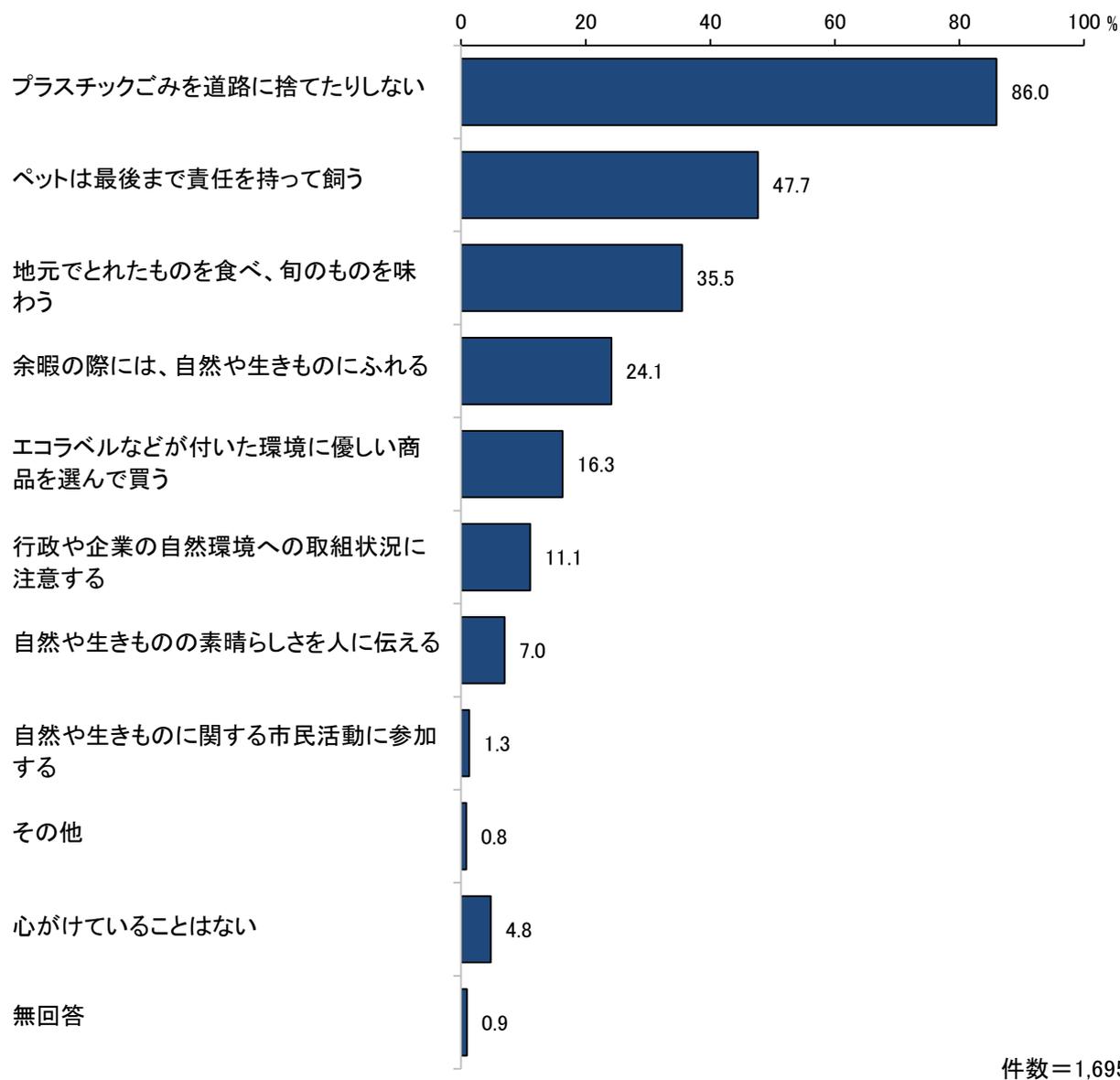
「生物多様性」の認知状況(性別、年齢別、地域別、職業別)



(3) 生物多様性保全に関して心がけている行動

「プラスチックごみを道路に捨てたりしない」が 86.0%

問 12 わたしたちの日常生活のあり方も「生物多様性」と関係があります。あなたが日常の行動で心がけていることは何ですか。【〇は複数可】



生物多様性保全に関して心がけている行動について、「プラスチックごみを道路に捨てたりしない」と答えた人の割合が 86.0%と最も高く、続いて「ペットは最後まで責任を持って飼う」(47.7%)、「地元でとれたものを食べ、旬のものを味わう」(35.5%)の順となっている。

生物多様性保全に関して心がけている行動(性別、年齢別、地域別、職業別)

(%)

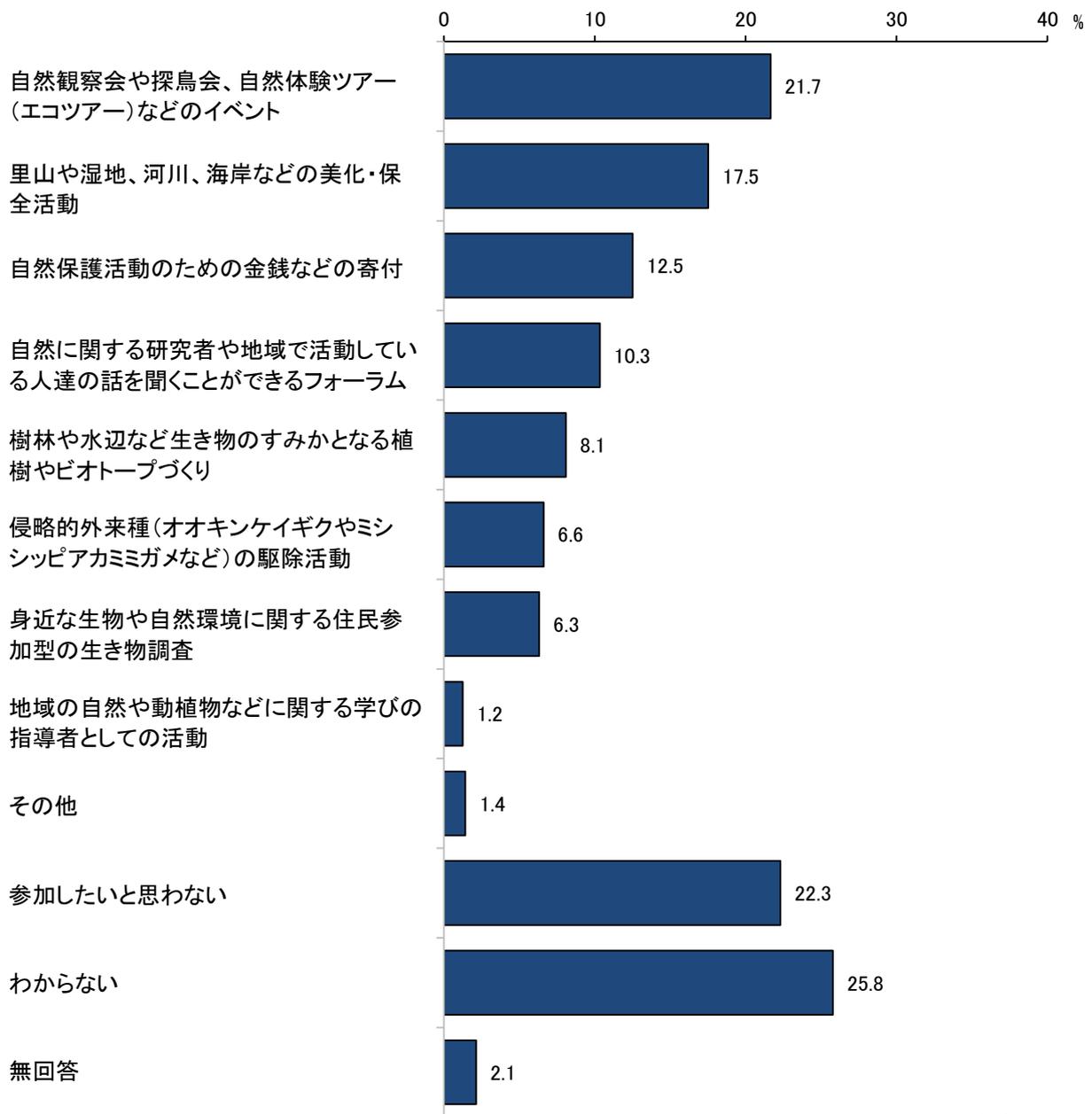
	プラスチックごみを道路に捨てたりしない	ペットは最後まで責任を持って飼う	地元でとれたものを食べ、旬のものを味わう
<性別>			
男性	81.9	43.5	25.8
女性	89.5	51.3	43.1
<年齢別>			
18歳・19歳	84.1	45.5	13.6
20～29歳	82.4	46.3	14.4
30～39歳	84.0	51.0	27.7
40～49歳	89.5	44.9	34.8
50～59歳	86.9	54.7	38.0
60～64歳	84.8	44.8	39.2
65歳以上	86.9	46.6	46.6
<地域別>			
名古屋地域	85.6	45.2	27.4
尾張地域	85.7	47.5	36.6
西三河地域	87.4	50.0	39.9
東三河地域	87.3	53.2	46.8
<職業別>			
自営業	85.1	52.5	48.2
勤め人	86.2	47.1	32.4
無職	86.0	47.4	37.8

	余暇の際には、自然や生きものにふれる	エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を選んで買う	行政や企業の自然環境への取組状況に注意する
<性別>			
男性	22.0	11.5	13.2
女性	26.2	20.1	9.6
<年齢別>			
18歳・19歳	15.9	11.4	15.9
20～29歳	20.4	13.0	5.6
30～39歳	22.8	12.6	6.3
40～49歳	24.6	11.2	8.3
50～59歳	27.8	19.2	14.7
60～64歳	24.8	22.4	8.0
65歳以上	25.3	19.4	15.2
<地域別>			
名古屋地域	24.9	18.5	11.0
尾張地域	22.1	16.1	11.4
西三河地域	26.1	15.8	11.5
東三河地域	27.2	12.7	10.1
<職業別>			
自営業	32.6	19.9	9.2
勤め人	25.0	14.4	10.0
無職	22.1	18.3	13.2

(4) 参加したい生物多様性保全活動

「自然観察会や探鳥会、自然体験ツアー(エコツアー)などのイベント」が 21.7%

問 13 「生物多様性」の保全のため、県内各地で様々な活動が行われています。あなたは、どのような活動に参加したいと思いますか。【〇は複数可】



件数=1,695

参加したい生物多様性保全活動について、「自然観察会や探鳥会、自然体験ツアー(エコツアー)などのイベント」と答えた人の割合が 21.7%と最も高く、続いて「里山や湿地、河川、海岸などの美化・保全活動」(17.5%)、「自然保護活動のための金銭などの寄付」(12.5%)の順となっている。

一方で、「参加したいと思わない」と答えた人の割合は 22.3%となっている。

参加したい生物多様性保全活動(性別、年齢別、地域別、職業別)

(%)

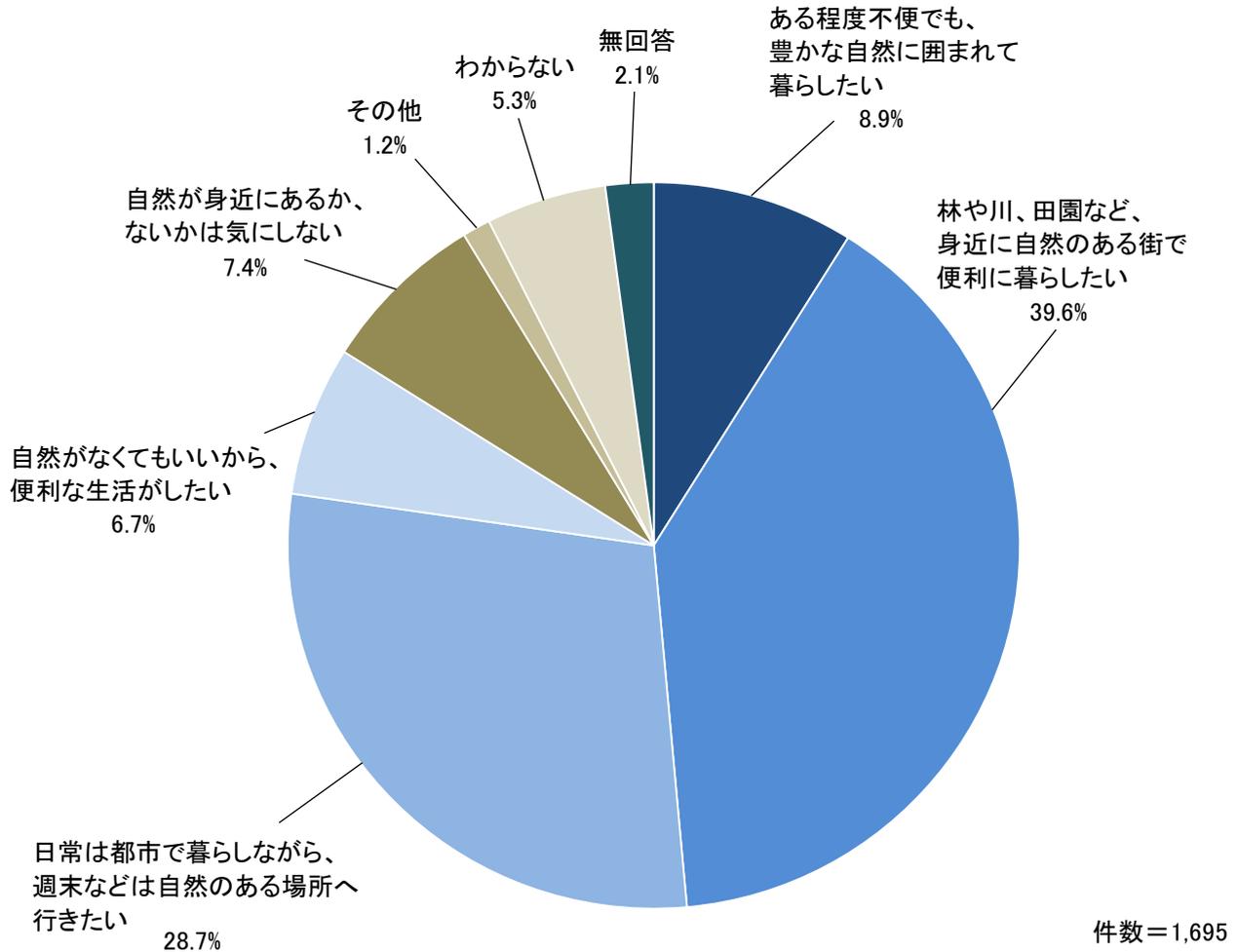
	自然観察会や探鳥会、自然体験ツアー(エコツアー)などのイベント	里山や湿地、河川、海岸などの美化・保全活動	自然保護活動のための金銭などの寄付
< 性別 >			
男性	17.8	21.2	11.4
女性	24.9	14.9	13.4
< 年齢別 >			
18歳・19歳	25.0	29.5	15.9
20～29歳	19.4	16.7	17.6
30～39歳	28.6	17.5	13.1
40～49歳	24.6	18.8	10.9
50～59歳	25.7	17.6	13.1
60～64歳	25.6	21.6	9.6
65歳以上	15.9	15.7	11.5
< 地域別 >			
名古屋地域	20.3	13.2	12.4
尾張地域	23.7	19.5	13.3
西三河地域	20.1	20.1	13.2
東三河地域	20.9	17.7	8.9
< 職業別 >			
自営業	18.4	21.3	19.1
勤め人	24.5	18.1	11.7
無職	19.1	17.2	12.6

	自然に関する研究者や地域で活動している人達の話の聞くことができるフォーラム	樹林や水辺など生き物のすみかとなる植樹やビオトープづくり	参加したいと思わない
< 性別 >			
男性	10.9	9.0	24.7
女性	10.1	7.6	20.3
< 年齢別 >			
18歳・19歳	11.4	20.5	22.7
20～29歳	6.0	10.6	28.2
30～39歳	6.8	9.7	28.2
40～49歳	4.3	8.7	23.6
50～59歳	11.4	13.5	17.6
60～64歳	13.6	4.8	16.0
65歳以上	15.2	3.9	20.5
< 地域別 >			
名古屋地域	9.3	7.1	24.1
尾張地域	12.4	7.4	22.4
西三河地域	8.6	10.9	21.8
東三河地域	9.5	8.2	16.5
< 職業別 >			
自営業	15.6	7.1	16.3
勤め人	9.5	9.7	22.7
無職	11.0	6.7	22.9

(5) 自然との共生に対する考え方

「林や川、田園など、身近に自然のある街で便利に暮らしたい」が 39.6%

問 14 あなたは将来、どのように自然と関わりながら生活していきたいと思いますか。【〇は1つ】



自然との共生に対する考え方について、「林や川、田園など、身近に自然のある街で便利に暮らしたい」と答えた人の割合が 39.6%と最も高く、続いて「日常は都市で暮らしながら、週末などは自然のある場所へ行きたい」(28.7%)、「ある程度不便でも、豊かな自然に囲まれて暮らしたい」(8.9%)の順となっている。

自然との共生に対する考え方(性別、年齢別、地域別、職業別)

